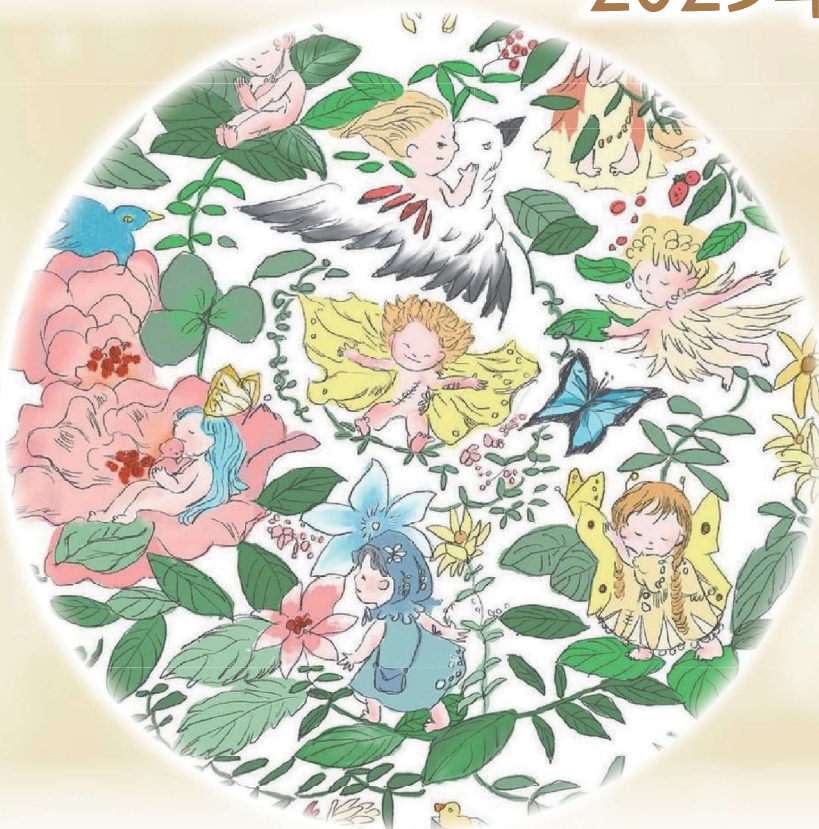


ココロやカラダにお悩み・不安のある方の長期就労を応援する情報誌『イコウ』

イコウ IKOU!

2025年 秋号



イコウ!イラストコンテストイコウ大賞受賞作品「実」(作: anome さん <テイクハート成田 / 千葉県>)

【巻頭特集】障がい者雇用推進カンパニー訪問インタビュー

“インクルージョン”の名のもとにクボタグループの新たな挑戦

クボタインクルージョンワークス株式会社(株式会社クボタ特例子会社)

就労支援の「人」

法政大学 現代福祉学部 福祉コミュニティ学科 教授

眞保智子先生

いこう!就労移行支援事業所へ!

10年後の『自立』を育む就労支援の哲学ーティオ中央区役所前(札幌市)

イコウ!イラストコンテスト結果発表



一般社団法人社会福祉支援研究機構

障がい者雇用推進カンパニー訪問インタビュー

“インクルージョン”の名のもとに クボタグループの新たな挑戦

ー合併によって進化するオールインクルーシブな職場の実現ー

株式会社クボタ特例子会社

クボタインクルージョンワークス株式会社

令和7年1月、クボタワークス株式会社とクボタサンベジファーム株式会社が合併し、新たな歴史を刻み始めたクボタインクルージョンワークス株式会社（以下、クボタインクルージョンワークス）。世界有数の機械メーカーであるクボタグループの一員として、20年以上障がい者雇用の推進に取り組んできたクボタワークスと、農業分野で新たな可能性を切り開いてきたクボタサンベジファームが合併し、その名に「インクルージョン（包摂）」を冠した新会社として生まれ変わりました。この社名にはどのような想いが込められており、また同社ではどのような雇用推進がなされているのでしょうか。今回は、同社代表取締役社長の向當重夫氏をはじめとした皆さまにお話を伺いましたので、その内容をインタビュー形式で紹介します。

■ 御社設立の背景と社名に込められた想いを教えてください。

当社の前身であるクボタワークスは2002年に清掃を主要業務とする会社としてスタートしました。当時まだ「ダイバーシティ」といった概念が社会に広く浸透していませんでしたが、クボ

タグループ内での障がい者雇用の推進という明確な目的を持って特例子会社として立ち上げられたのです。業務内容としては清掃事業に加え、事務サポート業務も手掛けるようになり、多様な人材の活躍の場を広げていきました。

一方、もう一つの前身であるクボタサンベジファームは、農業と福祉が連携することで新たな価値を生み出す「農福連携」という位置づけで設立されました。こちらではビニールハウス内での水耕栽培によって新鮮な野菜を生産していました。

当社ではこの二つの特例子会社を統合し、より効率的で統合的な運営を目指すことになったのです。そして、この統合を機に、企業理念をより明確に打ち出すため、新会社名には「インクルージョン」という言葉が冠されました。これは真の共生社会の実現に向けたクボタグループの意思の表れともいえます。

■ 障がい者雇用に関する企業風土を教えてください。

当社の企業風土には、「社員が主役」という考え方と、「オールインクルーシブ（全てを包括する）」という理念が深く浸透しています。

株式会社クボタについて

- ◆ 所在地：（本社）大阪市浪速区敷津東一丁目2番47号
- ◆ 創業：1890年（明治23年）
- ◆ 資本金：841億円（2024年12月31日時点）
- ◆ 売上高：30,163億円（2024年12月31日時点・連結）
- ◆ 従業員数：52,094人（2024年12月31日現在・連結）


<https://www.kubota.co.jp/>



＜インタビューにお応えいただいたクボタインクルージョンワークスの皆さま＞

- ◆ 代表取締役社長 向當重夫氏（正面からみて右）◆
- ◆ クリーンサービス部長 博多祐子氏（中央）◆
- ◆ 管理総務部 総務課長 瀧田陽広氏（正面からみて左）◆

人はそれぞれ特性や個性を持つ存在です。「分け隔てなく一緒に」という強い思いを抱いています。その思いは、関西弁で言えば「混ぜこぜでええやん」というフレーズになるのでしょうか。これは「みんなで一緒にやろうよ」という、難しく考えずに誰もが共存できる場を創りたいという考えです。

来年、クボタグループは、長年本社を構えている大阪市浪速区を離れ、大阪・梅田に本社を移転する予定です。将来的には障がいのあるスタッフが一般の社員とともに同じフロアで働けるようになることを思い描いています。働く場から物理的な壁をもなくして、お互いの理解をいっそう深める。ここからもオールインクルーシブを体現できれば素敵なことだと思います。

■ スタッフの方の業務内容について教えてください。

主にオフィスサポート部、クリーンサービス部、そしてサンベジファームの3つの事業部門において、それぞれの特性に応じた業務に従事しています。業務内容の一部をご紹介します。

□ オフィスサポート関連

クボタグループから事務や印刷などの業務を行っています。精神障がいを持つ社員が多い傾向にあるため、面談の頻度を増やすなど、個々の状態に合わせた柔軟な対応を行っています。

□ クリーンサービス関連

清掃業務を担い品質管理、備品管理などを行います。ビル内のフロア・階段・トイレ・食堂などを清掃し、働く人々やお客様にとって快適な環境を維持しています。

□ サンベジファーム

さまざまな野菜を水耕栽培で育てて出荷・販売をしています。

□ 私達は『ごちやまぜ』でありたい

クボタインクルージョンワークスの業務例

- 事務代行 ■
- 印刷業務 ■
- 郵便業務 ■
- 清掃業務 ■



- デザイン関連業務 ■
- 野菜の生産・販売 ■
- 農場見学の受け入れ ■



大好評！！サンベジファームからの直送野菜

各所で大人気の「サンベジ野菜」。取材当日の社内販売は完売でした。



道の駅



社内販売



社員食堂



イベント販売

収穫された野菜は、地域の「道の駅」や大手スーパーでの販売、学校給食への提供だけでなく、クボタグループの社員食堂でも提供され、また、社内でも販売されています。

合理的配慮の考え方について教えてください。

当社が考える「合理的配慮」は、決して特別なものではありません。健常者と呼ばれる人々がお互いに思いやりを持って仕事をするのと何ら変わらない、自然な対応として捉えられています。

もちろん、国家資格を持つ専門的な知識を持ったサポートスタッフが良い距離感で見守ること、通常の職場よりもきめ細やかな気遣いがなされており、それが当社の「配慮」の形であると言えます。基本的には「オールインクルーシブ」の精神に基づき、障がいの有無で線引きせず、社員一人ひとりの状況や状態に合わせて、その都度柔軟なフォローアップを行っています。

スキルアップや成長に関する考え方について教えてください。

特に力を入れているのが、社員の能力開発とプロ意識の醸成です。一

グループ全社を挙げた熱烈エール

例を挙げると、社員の努力と成果を正當に評価するための社内表彰制度が充実しています。中でも象徴的なのは「社長表彰」です。これは、「障害者技能競技大会（アビリンピック※）」の全国大会で入賞した社員に贈られる賞です。当社では、アビリンピックでの活躍を、一般社員の参加している「技能五輪全国大会」での成果と同等に位置付けており、クボタの社長からの激励と合わせて全社を挙げて応援しているのです。

実績の一部を紹介すると、ビルクリーニング部門では、大阪大会で当社社員が上位を独占するほどの高いレベルを誇っています。2020年には全国大会でオフィスサポート部門から金賞受賞者も輩出しています。今年もすでに全国大会出場を決めている社員がいるなど、そのレベルの高さが自慢です。

地域とのつながりや社員間の交流について教えてください。

地域貢献にも積極的に取り組んでいます。例えばジャパンラグビーリーグワンに所属する「クボタスパース船橋・東京ベイ」の選手を招

※<https://www.jeed.go.jp/disability/activity/abilympics/index.html>

やりがい向上のための取り組み

社内表彰制度



優秀な成績を収めた方や社内でも活躍された方を社長賞・部門長賞として表彰しています。

年次評価制度



毎年「私の目標」「目標チャレンジ」シートを作成し、上司と面談して目標を決めています。

キャリアアップ制度



チームのとりまとめや後輩の育成などステップアップを目指す制度が用意されています。

技能向上に対する支援について



アビリンピックの強豪！

アビリンピック出場や検定受験を希望する従業員に対し、技能向上の支援や研修費用補助などを行っています。これまでも従業員がアビリンピック全国大会優勝やビルクリーニング技能士合格などを果たしています。

精神障がい者の雇用をより積極的に

「スピアーズ」が協力！タグラグビー授業

大阪府の支援学校で開催（2024年）



クボタスピアーズ船橋・東京ベイの現役選手とOBが講師として参加。2時間の授業は高校生たちの活気と笑顔が満ち溢れる時間となりました。

海外からも！サンベジファーム視察団

モンゴルから30名が参加（2023年）



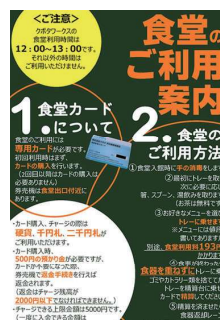
参加された方からは「言葉にならないほど素晴らしい施設だったので、モンゴルにもぜひ欲しいと思いました」という言葉がかけられました。

今後の展望を教えてください。

既存の業務である事務サポート、清掃、野菜作りなどに加えて、障がいを持つ社員がさらに活躍できる新たな業務領域の開拓を検討しています。例えば、社内向けのビデオ制作やポスターデザインなど、個々の社員の得意なスキルを活かした業務は既に行っています。今後はさらに活躍の場を広げていければ良いと思います。

いたタグラグビー授業を定期的に開催しています。これは「誰一人取り残さない」の理念を元に、スポーツを通じて多様な個性を持つ生徒の健全な育成と自立・成長への支援につなげることを目的としており、支援学校などで実施しています。

また、当社のメンバーもスポーツを通じて心身の健康を増進しています。例えばクボタの部活に参加する人もいます。ここでは、良い汗をかきながらイキイキとグループ社員間の交流を楽しんでいます。



デザイン関連業務の成果物（掲示物）

また、法定雇用率の上昇とも連動してさらに人員を増やす方針です。身体障がい者、知的障がい者に加えて精神障がい者の雇用を積極的に進めていきたいと考えています。

どのような人材を求めているか教えてください。

当社では、入社時点で完璧なスキルを求めているわけではありません。重視するのは、粘り強く努力する姿勢、そして自己管理能力、特に健康管理ができるということです。スキルは入社後に学ぶことができます。ゆとりでも着実に成長し、「プロ」としての自覚を持って業務に取り組むことができる方を求めています。充実したサポート体制も整っていますので、ぜひ安心してチャレンジして欲しいと思います。



この日の取材は、大阪のクボタ本社ビルで実施されました。取材後は、職場見学もさせていただきました。

クボタインクルージョンワークス株式会社について

- ◆ 所在地（本社）：大阪府大阪市浪速区敷津東1丁目2番47号クボタ第2ビル1階
- ◆ 設立：2002年1月（2025年1月にクボタワークス株式会社とクボタサンベジファーム株式会社を合併し、社名変更）
- ◆ 資本金：5,000万円（株式会社クボタ100%出資）
- ◆ 従業員数（オフィスワーク・清掃などの農場以外で従事する従業員）：308人（内障がい者196人）
（農場で従事する従業員）：37人（内障がい者19人）

<https://www.kubota-inclusionworks.co.jp/>





いこう！就労移行支援事業所へ！



広々とした気持ちのいいフロア。個別スペースも完備で、利用者さんはそれぞれの訓練メニューに対して、明るい表情で精力的に励んでいました。



▲企業コンサルタントでもある窪田克彦代表

▼窪田代表のレクチャー



▲イベントでみんなでつくったかき氷と恵方巻



▲風船バレー風景

<今回お伺いした事業所>



10年後の『自立』を育む就労支援の哲学

全国の就労移行支援事業所では、利用者の心身の健康維持と就労に向けた技能取得、安定した生活リズムの確保など、多様なニーズに応えるサービスを展開しているが、そこにはやはり事業所ごとの特色や魅力がある。本コーナーでは、実際に事業所に訪問し、見て、聞いて、触れて、感じたことをレポートする。

自立・継続・幸せ

北海道の政治、経済、文化の中心地であり、日本屈指の観光地である札幌。日々多くの観光客で賑わうこの地で就労支援サービスを提供しているのがティオだ。代表の窪田さんは長年人材育成や企業の人材マネジメントに携わってきたおり、その考え方がティオの支援にも反映されている。

「支援における最も重要なテーマは、自立に向けた寄り添いによって、自立した社会人（自立型人材※）として生活し続けられるようになっていただくということです。お一人おひとりにあったペースで着実に力をつけていったのですが、そのペース配分の見極めが事業所の実力だと考えています。目指す形は、利用者さん自身が『知らず知らずのうちに、決して無理をしないのに、気が付いたら過去の自分からは想像できないような成長を遂げている』というものです」（窪田代表）

※心が穏やかで、ストレスを感じず、人間関係の刺激に左右されずに自分の能力と可能性を最大限に発揮して人生における道を自ら切り拓いていける人材のこと。

支援の初期では、利用者さんの手を取ってしっかりと支える。例えば精神疾患を抱える利用者さんの中には過去のトラウマから

ら社会への不信感を持つ人も少なくないので、まずは彼らのバックグラウンドを徹底的に理解し、共感することから始める。そして徐々に、利用者さんの成長に合わせて手を離していく。一人でしっかりと立ち、歩き出せるようになってもらうためだ。

一流の人材育成プログラム

「訓練内容としては、個別の課題解決計画に基づく個別プログラムを基本としつつ、利用者の成長を促すための独自の共通プログラムを取り入れています。プログラムには私の一般企業向けの人材育成メソッドを組み込んでおり、心・体・スキルの三位一体を育む構成となっています。例えば『心』では『誰かと比べることの無意味さ』『誰のために生きるのか』などを学び、『体』では体力向上のためのトレーニングやスポーツイベントが多くあります。『スキル』ではPC教室で業務能力を上げ、グループワークで協調性や問題解決能力を養っていただきます」（同）

ティオのワークは、窪田代表が実際に一般企業で成果を上げている研修内容も受けられる。卒業後も、就労しながら定期的にオンラインでワークを受講している元利用者さんもある。就労のための訓練をしながら、社会の第一線で活躍できるようなレクチャーを受けられるというのはとても魅力的だ。「自立型人材エキスパート対策講座」というものもあり、その理解、実践度を測る試験を受験し、合格者には資格者として認定される。こちらはとても人気の講座で、いつも多くの利用者さんが参加する。

とはいえ、肩の力を抜いてリラックスして参加できるイベントも豊富にある。風船でバレーをしたり、みんなでた

こ焼きやかき氷をつくってワイワイ騒いだり。楽しく過ごしているうちに、コミュニケーション能力が身につく、社会で生き易くなっている。それがティオメソッドなのだ。

ワクワクし続ける未来のために

「厚生労働省が半年～3年の定着を就職支援の成果指標としているのに対し、ティオは『10年後の幸せ』という長期的な定着と自立を目標としています。これは、福祉が単なる短期的なサポートに留まらず、利用者が真に社会の中で活躍し続けるための基盤を築くことの重要性を強く認識しているからです」（同）

窪田代表の「自立に向けたサポート」の考えは、スタッフ全員に浸透しており、事業所が丸となって利用者さんの10年後を見据えている。

「ティオは『就職したい』という意欲を持つ人であれば、どんな人でも受け入れ、状況に合わせた寄り添い方で支援します。まずは一度遊びに来てみてください」（同）

10年後の自分をワクワクしながらイメージするために。ぜひティオを訪れてみてはいかがでしょうか。

事業所お問合せ先情報

●ティオ中央区役所前

札幌市中央区南1条西 11-327-4-1F

TEL：011-522-9370

●ティオ札幌駅前

札幌市北区北6条西 6-2-11-3F

TEL：011-299-2745

●ティオ苫小牧

苫小牧市新中野町 3-2-22

TEL：0144-82-8841

<https://tio-sapporo.jp/>



わたしたち！就労移行支援事業所です！

毎号ピックアップして、全国の社会福祉支援研究機構加盟の事業所をご紹介します。

お一人おひとりのニーズに沿ってサポート！

テイクハートつくば（茨城県）



茨城県つくば市研究学園
5-5-1 Liebe 研究学園 3F

◆TEL 029-893-4511
◆E-MAIL info_tsukuba@takeheart.or.jp

<http://takeheart.or.jp/>

これが事業所の名物ワーク！

調理イベント「オリジナルバンケーキ作り」

事業所内で行う調理イベントは人気です！季節に合わせて利用者さん、スタッフと企画をして決めています。調理の訓練を通してチームワークの経験を積んでいきましょう。



障がいをお持ちの方へのメッセージ

テイクハートつくばは今年で2年目を迎えました。就職者も5名以上輩出しており、強み、弱み、特性を把握するための様々なプログラムを提供。利用者様のなりたいたい像！と一緒に考え、二人三脚でサポートしていきます。

一人一人の違いを、一人一人の生きがいに

パレット市原市役所前（千葉県）



千葉縣市原市国分寺台中央
1-4-12

◆TEL 0436-26-6203
◆E-MAIL ichihara@hisyo-work.com

<https://www.palette-chiba.jp/ichihara/>

これが事業所の名物ワーク！

市原で充実プログラム！

就労セミナー、PC 講座、ヨガ等であなたの「働きたい」を全力サポート。一緒に未来へ！



障がいをお持ちの方へのメッセージ

市原で「働きたい」を叶えませんか？私たちは、あなたが地域で多様な選択肢から仕事を選び、自分らしく活躍できるよう応援します。地域企業での一般就労を目指し、自立した生活を送るための一歩を、一緒に踏み出しましょう！

明るく楽しく元気よく！

ティオ森下（東京都）



東京都江東区森下 2-18-2
センテナリー森下 2F

◆TEL 03-6659-5782
◆E-MAIL info.m@tio.tokyo.jp

<https://tio.tokyo.jp>

これが事業所の名物ワーク！

本気の調理

再現レシピをもとに人気店のメニューを調理したり、巷で流行っているものの調理に挑戦したりしています。包丁での作業は勿論、焼き物、揚げ物もやりますよ！



障がいをお持ちの方へのメッセージ

ティオ森下では、利用者さんお一人おひとりと向き合い、その方それぞれの就労の形と一緒に見つけながら、人生に寄り添った支援をしています。楽しい時間だけでなく、苦しい時間や、悲しい時間も共に過ごし、より良い人生を送るための力を育めるよう全力で応援しています！

はたらく自分を はっきり描けた

ティオ大牟田築町（福岡県）



福岡県大牟田市築町 4-1

◆TEL 0944-32-9604
◆E-MAIL tio.kanau@gmail.com

<https://kibaru.jp/>

これが事業所の名物ワーク！

最高の環境で最速かつ最短の就労を応援します



障がいをお持ちの方へのメッセージ

あなたの働きたいを応援します！体調が安定しない…働いても長く続かない…そんな悩みをお持ちではありませんか？

『ティオで出来る5つの事！！』

1. お一人おひとりにあった個別スタイル…一人一人個別の課題に向き合えます！
2. 就職に有利な資格取得…100種類以上の資格をサポート！
3. 日替わりで実施する魅力的なプログラム・イベント
4. 就職後も安心の「定着支援」…長期的に支援を行っていきます！
5. 充実した手厚いサポート…資格受検料補助・昼食無料・送迎支援など

第5回イコウ!イラストコンテスト結果発表

イコウ<2025 年夏号>にてご案内した「第5回イコウ!イラストコンテスト」にたくさんのご応募をいただき、誠にありがとうございました。
ここでは、読者の皆さまの素晴らしい作品の中から表彰作品について、紹介いたします。

<主催> 一般社団法人社会福祉支援研究機構

イコウ大賞



『実』

anome さん

(テイクハート成田 / 千葉県)

表彰の言葉

賑やかで、華やかで、優しくて。見てるだけでワクワク。みんなの穏やかな、温かな表情に癒されます。どんなことを考えているのでしょうか。想像するのも楽しいですね。

審査委員長賞

京美

<審査委員長>

飯名京美氏

(日本画、水墨画家)

<http://saibokudo.com/>



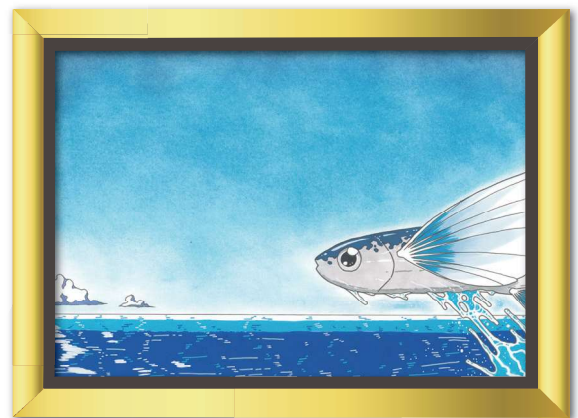
『自然への憧れ』

グレグレコさん

(チャオ上尾 / 埼玉県)

表彰の言葉

空、海、飛び魚、それぞれの配置と量感バランスが涼しげで残暑見舞いという趣旨にピッタリです。彩度、明度を変えた様々な青色の組み合わせが素敵です。



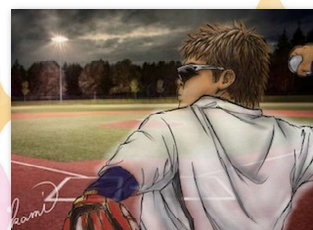
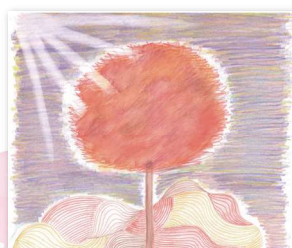
みんなの応募作品ギャラリー①



木戸海斗さん

(ティオ船堀 / 東京都)

とーわさん
(ラ・レコルト高松瓦町 / 香川県)



あおいさん

(アスミル大田原 / 栃木県)

D61 さん

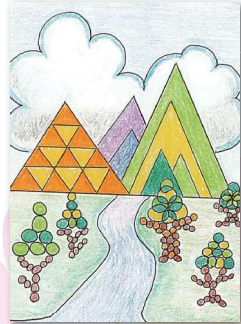
(リセル布施 / 大阪府)



みんなの応募作品ギャラリー②



きなさん
(ラフィオ熊谷/埼玉県)



九条みみさん
(ルミノゾ川崎宮前平/神奈川県)



福猫さん
(グッドライフパートナー福島駅前/福島県)



S・Hさん
(ぶらす守口/大阪府)

※各受賞者には、各受賞作品に表彰の言葉を添えて、額に入れて進呈いたします。

デジタル部門賞

『Pop & Cool』

しろーさん
(パレット銚子/千葉県)

表彰の言葉

個性ばっちり、自分の人生を楽しみながら強く生きていこうとする力が感じられます。

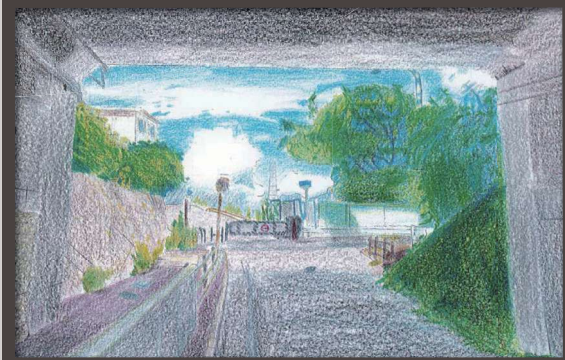
優秀作品賞

『帰り道 積乱雲がお出迎え』

蔵原光桜さん
(ぶらす守口/大阪府)

表彰の言葉

トンネルを出たら青空。明るい世界で雲のように自由に生きていけたら。そんな希望の光を感じます。



第5回『イコウ! 川柳コンテスト』のご案内

主催: SSO 一般社団法人社会福祉支援研究機構

※テーマ: あなたの好きなお題を、5・7・5の文字数で表現してください。

※賞および賞品: 優秀賞(1名)/準優秀賞(3名)※受賞者には、作品に表彰の言葉を添えて、額に入れて進呈いたします。

※募集期間: 2025年10月1日(水)~2025年11月22日(土)

※応募方法: 作品にペンネームを添えて、ご利用の就労移行支援事業所(社会福祉支援研究機構加盟)にご提出ください。

※手書きデータのスキャンでも、テキストデータでも、どちらでも構いません。

※結果発表: 『イコウ』次号<2026年新春号>の誌面にて受賞者を発表いたします。

※2025年11月10日(月)13時~、ZOOMプログラム「繋がってるよ!笑顔になろうよ!」にて川柳講座が開催されます。

詳しくは、ご利用の就労移行支援事業所(社会福祉支援研究機構加盟)にお問い合わせください。

Person of employment support

就労支援の人

障がい者の就労においては、様々な立場から関わる支援者の存在が欠かせません。ここでは、支援者の方々に「人となり」や「経歴」、「モットー」などを自由に語っていただきます。

法政大学 現代福祉学部 福祉コミュニティ学科 教授
日本職業リハビリテーション学会 会長

眞保智子先生 Satoko Shimbo

研究テーマ例

- ・精神障害者就労の現状と課題～包摂された雇用とは～
- ・多様なメンバーが組織に貢献できる環境とは障害者法定雇用率の引き上げを見据えて
- ・障害者権利条約の国連勧告と質の高い支援を実現するための障害のある「女性」の視点

Profile

博士(経済学)、精神保健福祉士。社会福祉法人プライム理事長。日本職業リハビリテーション学会会長を務め、障害者雇用やキャリア形成、就労支援を専門とする。これまでに群馬県教育委員長や、厚生労働省「今後の障害者雇用促進制度の在り方に関する研究会」、内閣府障害者政策委員会専門委員などを歴任。

障がい児の才能を感じた幼少期

私のルーツは新潟、祖父の代から東京に出てきました。父は東京都の教員であり、障がい児教育を専門としていました。私が幼い頃、父は家で障がい児の療育の相談を受けていました。当時は今のように相談できる場所が少なく、母親たちが子供の手を引いて、土日に自宅に相談にいられていました。

私たちの姉妹は、そうして相談に来た子どもたちと一緒に遊ぶのが日常でした。絵を描いたり、おやつを食べたり、時には知能検査の補助をすることもありました。当時、彼らを「障がいのある子」とは意識せず、ただ「友達が来たから一緒に遊ぶ」という感覚でした。幼稚園から小学校にかけての長い期間、知的障がいや発達障がいのある子たちと触れ合う中で、私は彼らの障がいよりも才能を感じていました。絵がとてもし上手な子がいたり、私には読めない難しい漢字を覚えてくれる子がいたり。車のナンバーを瞬時に覚えて暗算をする子もいました。トランプの神経衰弱が得意な子もいて、その子には一度も勝てませんでした。

経済学の道を歩む

このような経験があったけれども、私は福祉や教育の道に進もうとは思いませんでした。ごく自然に彼らを受け止めていたから、あえて学ぼうとは思わなかったのかもしれない。大学では経済学部で学び、卒業後は大学で経営情報に関する教員として働きました。しかし、ここから私のキャリアは福祉へと舵を切るようになります。大学が福祉系の大学へと改組され、私は

「自立」してイキイキ社会で活躍して欲しい

当初の専門であるヒューマンリソースマネジメントの教員として医療情報学科に所属しながらも、少しずつ福祉の現場に関わるようになりました。

そしてある時、肢体不自由の方の絵の展覧会で知り合った方との出会いが、無認可の作業所との関わりを深めるきっかけとなりました。当時はボランティアのような形で運営されており、私自身も精神保健福祉士の資格を取得し、活動を始めました。

私はそれまであくまでもヒューマンリソースマネジメントが専門であり、福祉はライフワークという位置づけでした。しかし、この経験から、障がい者雇用における種の厳しさや経済合理性の重要性を痛感するようになりました。

障がい者こそ生産性が重要

私は生産性を上げることが、障がいのある労働者の賃金を上げ、社会での存在意義を高めるために不可欠であると考えています。日本の社会全体が「努力したり、工夫してやってみよう」ではなく「やらなくていいよ」という風潮もあると感じており、それは障がい者雇用においては顕著です。

障害者雇用促進法は、労働者と企業が対等な関係の中で、労働者の能力発揮のために合理的配慮を行うことを求めています。しかし、「困ったことはありませんか?」と聞かれれば、誰でも何かしらの困りごとを言いたくありませんか?

例えば、清掃の仕事で「流しのぬめりが苦手」と答える人がいますが、誰でも苦手だけれども、これが清掃の仕事の核の部分でもあります。別の箇所の清掃を任せるという配慮もできますが、一緒にぬめりを取り除いてその心地よさや「できた」という喜びを共有できる状況にある方であれば、一緒に業務をすることが良いでしょう。つまり、その方の状況を見極める視点が大切だと思っています。

「仲間」として長く働くために

採用時に仕事内容を明確にし、その上で「任された仕事をする上でどのような配慮が必要か」と聞くだけでなく「一緒に考えます」「職業人」として認められ、成功体験が人を成長させると思っています。

また、企業の職場環境の実態について医師に知っていた状況にないまま「環境調整」「人的環境調整」を要望するという趣旨の診断書などの文書を社員から提示されて企業が困惑することがあります。採用時には企業が医師と連携し、支援する内容を明確にしておくことが重要です。

企業は利益を上げ、従業員を守る責任があります。障がいのある従業員だけでなく、一般の従業員の生活のためにもです。だからこそ、障がいのある従業員も「自立」して、戦いとして活躍する。それが社会で認められ、長く働き続けるために不可欠な道であると思います。



最新の取組みのご報告

1. 当機構向け「オンライン会社説明会」開催

今後も続々開催予定

①7月18日、ジブラルタ生命保険(株)様

→昨年も説明会を開催いただき、今回が2回目となります。

②7月3日、(株) Smarthr 様

→人事労務ソフトの企画・開発を手がけられている企業です。

③6月6日、クボタインクルージョンワークス(株)様

→巻頭特集にもある農業・水環境ソリューションを手がける企業です。



当機構では、定期的に障がい者雇用を推進している企業様の「オンライン会社説明会」を実施しています。障がい者雇用や雇用する企業について知る、とてもよい機会になりました。

2. 鹿児島にて支援に関する情報提供

佐野理事長が登壇

6月19日、当機構理事長の佐野敏夫が、鹿児島中央高等学院の先生方に障害福祉サービスなどの情報共有を行いました。



3. 映画『星より静かに』公開

作品には加盟事業所「にじ鶴見」が登場

6月21日より、当機構加盟事業所の「にじ鶴見」の元利用者であり、ADHDと診断された映画監督の君塚匠氏が監督・主演を務める映画『星より静かに』が公開になりました。※写真はトークショーのもの。中央はにじ鶴見の脊尾代表。



『星より静かに』<https://www.hoshiyori-shizukani.com/>

近日の開所情報 2025年7月1日現在 90事業所

ー2025年7月開所ー

◆テイクハートユーカリが丘◆



千葉県佐倉市ユーカリが丘 3丁目 2-1
山万サンサンビル 2階 204号室
TEL:043-312-5925

EMAIL:info_yukari@takeheart.or.jp
<http://takeheart.or.jp/>

【大阪府】

エール近鉄八尾
エール近鉄八尾西口
サンク藤井寺
ソース堺東
ソース三国ヶ丘
Nagu 豊中
ぶらす住道
ぶらす守口
ぶらす横堤
ラ・レコルト茨木
ラ・レコルト枚方
LIIMO 阿波座
LIIMO 大正
LIIMO 南森町
リセル新大阪
リセル布施

【福岡県】

ティオ新栄町
ティオ大牟田築町
フィン大橋
フィン大橋北
フィン藤崎
フィン香椎駅前

【宮崎県】

グッドライフパートナー延岡
グッドライフパートナー宮崎

【鹿児島県】

フィット鹿児島中央
フィット鹿児島二中
【熊本県】
ティオくまもと新市街

【埼玉県】

ア・ドマーニ春日部
ア・ドマーニ久喜
シャローム浦和
シャローム所沢
シャローム和光
チャオ上尾
ラフィオ熊谷
シャローム西川口駅前

【兵庫県】

Nagu 川西
ジョブステーション神戸長田

【京都府】

ラ・レコルト伏見

【北海道】

ティオ中央区役所前
ティオ札幌駅前
ティオ苫小牧

【福島県】

アフレスシュいわき
グッドライフパートナー福島駅前
グッドライフパートナー郡山

【栃木県】

アスミル大田原

【群馬県】

ファシリカ高崎駅前
ラフィオ太田

【長野県】

ファシリカ長野

【東京都】

アルファ王子
アルファ日暮里駅前
ジョブステーション大井町
ジョブステーション高田馬場
チャレンジ板橋区役所前
ティオ神保町
ティオ西葛西
ティオ船堀
ティオ森下
ティクハート青戸
ティクハート金町
にじ中野坂上

【神奈川県】

にじ鶴見
バスセンター大船
バスセンター上大岡プラザ
バスセンター東戸塚
ルミノーズ川崎登戸
ルミノーズ川崎宮前平

【茨城県】

ティクハート土浦
アフレスシュ水戸
ティクハートつくば
【静岡県】
アポーヨ柿田川
アポーヨ富士

パレット市原市役所前

❖題字の作者



MIKAKO ポエムピクチャーアーティスト / 折り句作家

1981年山口県岩国市生まれ。18歳の時イギリスに短期留学。路上アーティストに感銘を受け「どこかで誰かの力になりたい」と思い、OLのかたわら活動を続け25歳で出版を機に独立。その後、東京に拠点を移し、ニッポン放送出演やラジオパーソナリティーなどを務め、気持ち伝わる筆ペン講座や講演活動を行い、活動の場を広げている。2011年より全国1万人折り句キャラバン〜10代のみんなと折り句でありがとうを伝えよう〜をスタート。

❖誌名『イコウ』について

本誌名『イコウ』には、就労移行支援事業所の「移行」やポジティブかつアクティブな「行こう!」というフレーズからのイメージに加え、読者の皆さまがほっと一息つくことのできる「憩う」タイミングで読んで欲しいという想いが込められています。ぜひ、末永くご愛読いただければ幸いです。



就労移行支援事業所の利用者さんの作品を募集しています

『イコウ』では、皆さまからの次のような作品を募集しています。

写真（スマートフォンでの撮影可）／イラスト（手書き・グラフィックデータ問わず）／川柳／俳句／短歌 など

ご応募いただいた作品は、本誌表紙や誌面上でご紹介いたします。

※ご応募作品数によっては、掲載できない場合もございます。作品はイコウ編集部のメールアドレスまで「データ形式で」お送りください。

※作品には作者名（ペンネーム可）を添えてご応募ください。就労移行支援事業所による利用者作品の一括応募も可です。

❖イコウ-IKOU!- 編集部のご案内❖

❖社会福祉支援研究所株式会社内イコウ編集部 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-4-21サンパーク高田馬場109❖

発行人：佐野敏夫 / 副発行人：両角康史 / 編集長：大槻一敬 / 副編集長：古澤和也

TEL：050-5437-2755 / E-MAIL：hensyuubu@social-so.net

社会福祉支援研究機構の目指す
「就労移行支援」

① 一人でも多くの“一般就労”を実現

② 最適、最短の“一般就労”を実現

③ “一般就労”実現の輪を全国に

就職実績累計

令和7年3月31日

4,683名就職

資格合格実績累計

令和7年6月30日時点

16,312名合格

目指せる資格は70種類以上

＜目指せる資格一例＞

- ❖ビジネスコミュニケーション基礎★ ❖ビジネス法務基礎★
- ❖ビジネスプレゼンテーション基礎★ ❖メンタルヘルス基礎★
- ❖パーソナルカリリスト検定 ❖ビジネス実務マナー3級◆
- ❖秘書検定◆ ❖生成AIパスポート★
- ❖ビジネス文書検定◆ ❖ビジネス実務法務検定試験
- ❖色彩検定3級◆ ❖コミュニケーションリーダー★
- ❖ピアカウンセラー★ ❖カーボンニュートラル検定★
- ❖ITパスポート ❖MOS Excel/Word対策講座
- ❖医療事務認定実務者®(医療事務講座)

★…試験免除プログラム対象資格 ◆…事業所内受験対象資格



一般社団法人
社会福祉支援研究機構

<https://social-so.net/>

